



感謝、哀悼、そして友好、

# 市民とまちが一つとなり

## 思いを伝えた英国訪問

「未来へつなげる もとみや英国訪問団」は、7月18日から22日にかけて、英国ロンドンを訪問し、ケンジントン&チェルシー王立区の福島庭園と本宮市の英国庭園の「姉妹庭園」覚書を締結しました。

「未来へつなげる もとみや英国訪問団」は、7月18日から22日までの日程で英国ロンドンを訪問しました。団長の高松市長、中学生、もとみや青年会議所、市民ら団員45人は、ケンジントン&チェルシー王立区を訪れ、東日本大震災での福島への支援に対する感謝、高層住宅火災の被災者への哀悼、そして、庭園を通じた友好の思いを伝えました。

### ロンドン火災 被災者哀悼

ロンドンに到着した訪問団は、19日、ロンドン西部で6月14日に発生

した高層住宅火災の現場を訪れ、献花を行い被災者を追悼しました。現場近くにある教会の献花台に高松市長や渡辺由紀雄市議会議長、菅野大地さん（本宮一中3年）ら5人が団員を代表して献花しました。市は高層住宅火災の被災者支援のため、市役所やえぼか、プリンス・ウイリアムズパークなど市内の公共施設6カ所に募金箱を設置しています。

### 庭園を核に交流促進を

一行は、19日夕方、在英国日本国大使館を訪問し、鶴岡公二特命全権

大使と懇談しました。高松市長は、訪英事業に関する大使館の協力に謝意を示した上で、「姉妹庭園を未来の交流につなげていく」との思いを語りました。鶴岡大使からは今後の交流を期待する言葉がありました。

翌20日午前には、ロンドン最大の高等教育機関で、世界有数の総合大学であるユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）を訪問。福島県出身の大沼信一教授の特別講演を聴きました。大沼教授は伊藤博文ら近代日本の礎を築いた多くの人物がUCLで学んだ歴史を紹介。「やりたいことを見つけ、世界を視野に入れて頑張ってほしい」と中学生にエールを送りました。生徒は、世界



①②英国に到着した訪問団 ③大規模火災のあったグレンフェル・タワー ④タワー近くの教会で献花する訪問団





姉妹庭園を締結した福島庭園で、訪問団・現地の中学生の見守る中、「友好の証」として市の木まゆみを植樹する高松市長とロッシン区長。鶴岡大使とロンドンしゃくなげ会（英国在住者の県人会）満山会長が立ち会った

を代表する大学の雰囲気と、将来の進路に胸を高鳴らせていました。

そして迎えた20日午後、ケンジントン&チェルシー王立区役所で、市の英国庭園と王立区の福島庭園の姉妹庭園覚書を締結しました。鶴岡大使立ち合いのもと、高松市長とマリイ・テレーズ・ロッシン区長が覚書に署名し、庭園を核とした友好を誓い合いました。今後、両者の深いつながりを醸成させ、更なる相互交流や情報発信、国際性豊かな人材育成などに取り組みます。

### 福島復興への支援に感謝

締結後には、ホーランド・パーク内にある福島庭園の開園5周年記念式典が行われました。高松市長がいさつし、県を代表して、福島復興への支援に対する感謝や、友好の懸け橋となることを願った内堀県知事のメッセージを読み上げました。

式典終了後には、王立区役所で締結記念のレセプションを開催しました。本宮市産の米や野菜（トマトやキュウリ）を使った料理、県産の日本酒で英国の関係者をもてなし、友好を深めながら今後の交流を確認しました。



⑤姉妹庭園の覚書に署名する高松市長（右）とロッシン区長（中央）。鶴岡大使が立ち会った ⑥覚書と記念に贈られた起き上がり小法師 ⑦訪問団と王立区関係者、在英日本人が交流した記念レセプション ⑧大使館を訪問し、鶴岡大使と懇談 ⑨UCLでの大沼教授の講演